

# CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 5/Jan/2021/vol.620

## 食の世界の輝ける“名バイプレイヤー” 玉ねぎ A splendid supporting role "Onions".

土の付いた薄皮を剥くと、その中にはまるでパールの様な光沢をもった姿が顔を出します。「玉ねぎ」はいつでもどんな国においてもキッチンには必ずと言ってよいほどある食材です。現存する世界最古の野菜の一つで、保存性や貯蔵性にも優れ、古代ローマにおいては敵を倒す力と勇気までもが授かれるとされて帝国の拡大とともにニンニクや玉ねぎの栽培範囲までもが拡大されていきました。世界の歴史の中でも猛獣除けから悪霊、疫病退散に至るまで効果があるとされ、紀元前1600年のバビロン王朝時代にも栽培されていた痕跡と様々なレシピで食されてきたことが調査結果としてあるのは驚きです。こんなに身近で世界中で親しまれてきたのに、原産地もいまだに確定されていないミステリアスな植物。私たちは現代においても一番重宝に使っており、そのオールラウンドな機能性はもちろんのこと、どのように調理をしても個性が際立ち、その上、海のものも山のものもどんなものでも引き立てながら旨味を添えるのですから、能力はまさに野菜界の「名バイプレイヤー」といっても過言ではないでしょう。栄養価も高く健康に寄与し、昔はあらゆる病気にも効く野菜として薬効も唱えられておりました。時に目に見えない部分で私たちの「生きる」をサポートしてくれて来た「玉ねぎ」、料理の舞台を支える輝かしい存在は、これからも私たちの傍でいつでも出番を待っているのでしょうか。